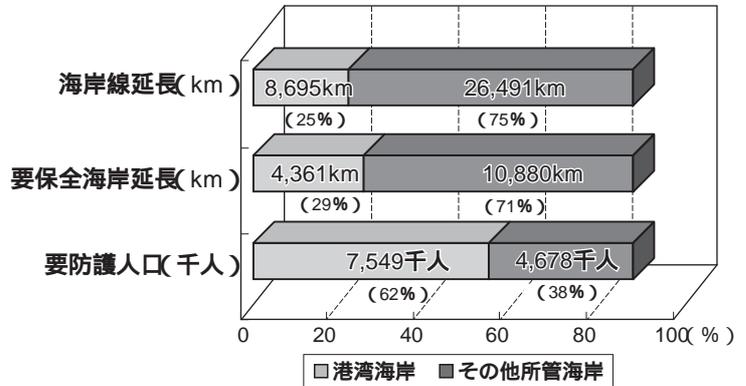
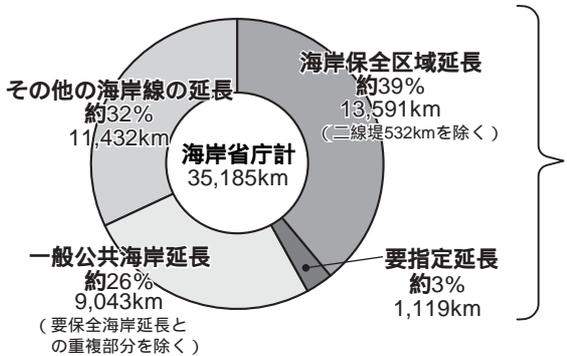


# 海岸関連データ

## 防護人口の62%を占める港湾海岸

港湾海岸は、災害から防護が必要な海岸のうち、延長では29%であるが、防護人口では62%を占めるとともに、背後に物流・産業機能が高密度に集積している。  
 三大湾をはじめ、早くから海岸保全施設の整備が進められてきた海岸が多く、施設の老朽化も進行し改良や再整備、耐震補強等のニーズが高まっている。

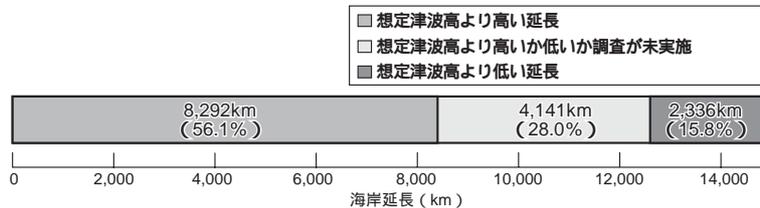


- ・海岸保全区域延長：海岸保全区域に指定されている海岸線延長
- ・要指定延長：都道府県知事が今後5年以内程度の間新たに海岸保全区域を指定し、海岸の保全をしたいとしている延長
- ・要保全海岸延長：海岸保全区域延長に要指定延長を加えた延長

## 海岸における津波対策の現状

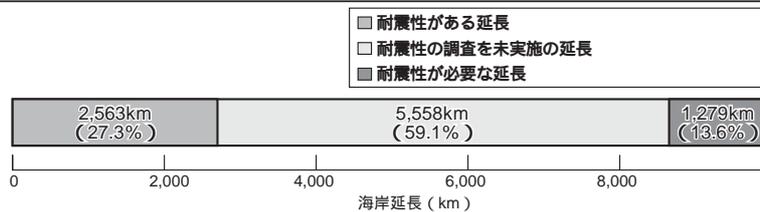
### 津波に対する海岸堤防の高さ状況

全国で約16%の海岸堤防・護岸が想定津波高よりも低く、また、約28%の海岸堤防・護岸が想定津波高よりも高いか低いかが調査が未実施



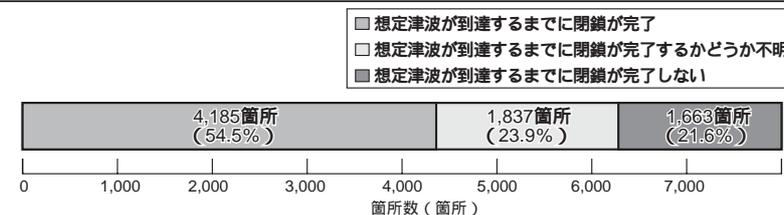
### 海岸堤防耐震化の状況

全国で約14%の海岸堤防が耐震化の必要があり、約59%の海岸堤防は耐震調査が未実施



### 水門・陸こう等の整備状況

全国で約22%の水門・陸こう等の開口部が、想定津波が到達するまでに閉鎖が完了しない。また、約24%の水門・陸こう等の開口部が、閉鎖が完了可能かどうか不明



(平成17年12月に海岸省庁で調査を実施した結果による)